

平成21年4月23日に静岡県掛川市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

4月23日15時50分頃に掛川市三俣で突風が発生し、屋根瓦のめくれ及びビニールハウスの損壊の被害が発生した。

本日(24日)、静岡地方気象台は職員を気象庁機動調査班として派遣し、現地調査を実施した。その結果、この突風をもたらした現象は塵旋風^{じんせんぶう}*と認められ、突風の強度は藤田スケールでF0以下と推定した。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、塵旋風^{じんせんぶう}*と認められる。

(根拠)

- ・ 渦の目撃証言が複数得られた。
- ・ 被害の発生時刻には晴れていたとの証言が得られており、また、被害地付近では雨雲は観測されていなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0以下と推定した。

(根拠)

- ・ 住家の屋根瓦のめくれがみられF0の可能性はあるが、周囲の状況からF0との特定には至らなかった。

^{じんせんぶう}塵旋風* : 竜巻と同様に鉛直軸をもつ渦巻きで、積乱雲や積雲に伴って発生する竜巻とは異なり、晴れた日の昼間などに地表面付近で温められた空気が上昇することによって発生します。